

新型コロナウイルス感染症への対応とさまざまな支援策



新型コロナウイルス感染症の拡大は、大学の教育・研究、学生生活などに大きな影響を与えています。この新たな感染症に伴う本学のこれまでの主な対応策、支援策などについてご報告いたします。

教育・研究

第1・第2クォーターの講義は原則オンライン、 第3クォーターは 対面型授業とのハイブリッド式に

日本で新型コロナウイルス感染症が広がりつつあった2020年2月頃より、本学では入学前学生を対象としたイベントの取りやめをはじめ、3月19日の学位授与式および4月2日の入学式の式典を中止するなど、多くの行事、活動を自粛しました。

20年度の学年暦については、政府の緊急事態宣言を受け、大学が休業要請の対象となったこともあり、第1クォーターの授業開始時期を5月18日に繰り下げました。授業の形態は、新型コロナウイルス感染症から学生と教職員の健康を守ること、学びを止めないことを何よりも優先し、登学しての対面式ではなく、原則オンラインによる遠隔授業としました。その際、遠隔授業に必要なパソコンを用意できない学生のため、卒業生の組織である東京都市大学校友会からの寄付金にて約300台を購入し、1年間無償貸与することとしました。また学生自らが学修環境を整備するための支援策として、学部生および大学院生に一人あたり一律5万円を支給しました。他にも、経済的に厳しい状況にある学生が修学を継続できるよう、授業料相当額を無利息で貸与する東京都市大学校友会と後援会による緊急奨学金制度を

教室を広々と活用し、ソーシャルディスタンスを確保。

設けています。

初めての試みとなる全面遠隔授業の開始にあたり教職員は、オンラインによる勉強会を複数回実施し、試行錯誤しながら遠隔授業に臨みました。また、学生有志がボランティアのアシスタントチームを立ち上げて、遠隔授業に不安や困難を感じている学生たちにオンラインでアドバイスや指導を行うピアサポート体制も自発的に生まれるなど、教職員と学生が一丸となる取り組みによって、第1および第2クォーターにおける遠隔授業は大きな混乱なく進めることができました。

9月24日から始まった第3クォーターでは、原則として、教室での対面授業を行いながら、同時にオンライン配信も行うハイブリッド型授業としています。

なお登学に際しては、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保に加え、外出前の検温結果を「東京都市大学

図書宅配サービスでサポート



希望する文献や図書を宅配便で図書館から自宅等に無料配送するサービス(継続中)も行うなど、キャンパスへ入構できない学生の学修・研究活動をサポートしました。



職員・来客の感染予防対策。



登学前には必ず検温し、「東京都市大学モバイルアプリ」に登録。37.5度以上の発熱がある場合には入構できません。感染予防のために入構口を限定し、チェックしています。(世田谷キャンパス)

モバイルアプリ」に登録することを義務づけ、学生自身による自主的な健康管理を促すとともに、キャンパスへの入構時には厳格なチェックを行っています。他にも教室等の換気や施設・設備の消毒、手指消毒薬・体温測定器の設置など感染予防策を徹底しています。とくに食堂ではマスクを外して飲食するため、全キャンパスに飛沫感染防止用のパーテーションを設置するとともに、間隔をあけての着席や施設内の滞在時間制限などの感染防止対策を取っています。



学生食堂の入り口でも手指消毒、学生証による入場記録を実施。感染予防のパーテーションを設置し、食事を終えたらマスクの着用と早めの退出を促しています。

キャリアサポート

コロナ禍にあってもきめ細かいキャリアサポートを展開 高い就職力を維持し続ける

「就職に強い」との評通り、20年3月卒の全学部就職内定率99%の実績を持つ本学では、従来提供していたキャリアガイダンス、進路ガイダンス、各種講座などのキャリア支援プログラムを速やかにオンライン化しました。

対面で行ってきたキャリアカウンセラーとの「面談」は、予約システム、面談システムを新たに構築した上で、従来と変わらぬきめ細かい就職相談を4月から各キャンパスともオンラインで行っています。各企業に就職した卒業生らから得た採用試験などに関する独自情報も、学生からの要望に応じて、電話やオンライン面談時に提供しています。なお、第3クォーターからは授業と同じく就活に関する面談も、対面式とオンラインを併用しています。

「就活対策講座」や「Uターン講座」「エントリーシート対策講座」などの各種講座や就活セミナーは、昨年度までキャンパス別に開催していたため、他キャンパスの講座を受講



キャリアサポートのための面談は、現在、オンラインと対面のハイブリッドで行っています

することはできませんでしたが、今年度はオンライン化したことにより他キャンパスの講座も受講でき、多種多様な講座・セミナー等を全キャンパスの学生が視聴できるようになりました。また毎年、多数の企業の人事担当者、OB、OGが集まって行う「学内企業研究会」も、全キャンパスの学生を対象に同時・オンラインで実施するなど、キャンパスをまたいだ就職サポートが行えるようになりました。

就業体験を通して業種や業態の内容を理解し、自身のキャリア観を醸成するために大きな役割を果たしている「インターンシップ」については、今年度、感染予防の観点から実施が困難となりました。そこで本学では、これまで3年次

の冬頃から行っていた「業界・仕事研究会」を秋に前倒しして実施することにより、就職活動を行う学生たちが業界を研究する機会をより多く設けることにより不足を補うこととしています。

企業側の就職面接や試験等も現在ではオンライン化が急速に進んでいます。オンラインでの対話に慣れるという

面からも、本学の新しいキャリアサポートは有効性が高いものと考えています。

コロナ禍により今後企業側の採用人数縮小も考えられますが、今後も状況の変化に即応し、最適のキャリアサポートプログラムを実施していく予定です。

学生生活

課外活動もオンラインから 対面式に段階的に移行 メンタル面でも最適なサポートを行います

大学生にとっては学修・研究活動や就職活動と並んで、クラブやサークルなどの課外活動も、コミュニケーション力を育み人間的に成長するために非常に大切なものです。本学では例年、リーダーズ研修会などを通じて、課外活動に必要な申請手続きや運営上の注意事項についての指導を行いながら、健全な課外活動の進展を積極的に支援してまいりました。今年度においても、対面式の課外活動が制限される中、オンラインツールなどを利用した非対面式の活動を推奨してまいりました。6月10日には、学生同士の交流を絶やさめよう、学生団体連合会主催によるオンライン「課外活動団体説明会」を新入生向けに開催し、さらに同様のオンライン説明会を9月30日、10月3日にも行い、コロナ禍における学生の主体的な課外活動をサポートしています。また学生団体責任者にあてたアンケートを実施するなど、各団体の活動状況や課題などの把握にも努め、とくに要望の多かった

部室への一時的な立ち入りについても職員の立ち会いを条件に受け付けました。

8月以降は、対面式の活動を希望する団体から、再開申請を受けています。その際、各団体が所属学生全員に、活動への参加が任意であり強制ではないことを確認するとともに、それぞれから細かい感染防止策や活動内容、運営上の指針などを提出してもらい、審議を経た後に再開を許可することにしています。

各団体は、大会やイベントに向けて、準備・練習を開始しているほか、本学が主催する公式行事の運営に協力するなど、徐々に活動を充実させています。



必要な感染予防策を講じた上で、対面式の課外活動を再開(写真は新聞会の取材風景)

長引くコロナ禍の中、学修や研究、将来のことなどでご相談されたい場合は、各学科のクラス担任や研究室の指導教員にご遠慮なくご連絡ください。また本学では専門の臨床心理士、心理カウンセラーによる「こころの相談」にも対応しています。学生生活や友人関係などに不安がおありの節はお気軽に学生相談室までご相談ください。

新型コロナウイルス感染症という予期せぬ事態においても、学生の皆さんが安心して学修、研究に取り組み、目指す将来に向けて着実に成長できるよう、東京都市大学はこれからも速やかに最適な施策を講じてまいります。



「課外活動団体説明会(オータムフェスティバル)」はツイッターなどを通じて広く告知された。